

市川市立図書館のメールマガジンをお送りいたします。

「メールでのサービス」で配信をご希望された方へお送りしています。

「.....」
市川市立図書館メールマガジン 第 40 号 2013.11.10
「.....」

中央図書館第 20 回リサイクルブック市が、11 月 2 日（土）、「市川図書館友の会」との共催で開催されました。当日は、あいにくの曇り空でしたが、1,024 人の方にご来場いただき、用意した 19,960 冊のうち 15,183 冊をお持ち帰りいただきました。ご来場ありがとうございました。リサイクルブック市は図書館で使われなくなった本を有効利用するため、毎年開催しています。

■ ■ 図書館からのお知らせ □

◆蔵書点検による休館のお知らせ

○市川市の図書館は、蔵書点検のため次の日程で休館させていただきます。休館期間中は大変ご不便をおかけいたしますが、皆様のご協力をお願いいたします。

◇中央図書館・こどもとしょかん 11 月 25 日(月)～12 月 6 日(金)

◇市川駅南口図書館 2014 年 2 月 17 日(月)～2 月 19 日(水)

○自動車図書館、市民図書室、公民館図書室、情報プラザについては、通常通り開館いたします。

○千葉商科大学附属図書館は、中央図書館休館中は市立図書館のリクエスト資料の受取りを休止いたします。

○行徳図書館、信篤図書館、南行徳図書館、平田図書室、ウィズ(男女共同参画センター)情報資料室の蔵書点検は終了いたしました。ご協力ありがとうございました。

◆大野公民館図書室開室のお知らせ

○大野公民館図書室は、公民館のエレベータ等設置工事のため平成 24 年 12 月より休室しておりましたが、工事終了に伴い 11 月 5 日より開室いたしました。休室中は大変ご不便をおかけいたしました。

市立図書館の本の貸出・返却・予約手続きにつきましては、休室前と同

じく水曜日～日曜日の 10 時～12 時と 13 時～16 時 30 分となっています。どうぞご利用ください。

公民館図書室のページはこちら

<http://www.city.ichikawa.lg.jp/library/guide/1009.html>

■ ■ テーマ展示 □

◆ 中央図書館

○ 「戦国武将・軍師から学ぶ」(11～12 月)

群雄割拠の戦国時代、日本の覇者を目指し、様々な戦略を駆使して乱世を勝ち抜いてきた戦国武将たち。信玄、家康など主要な武将から、千葉県にゆかりのある里見氏、次期大河ドラマでスポットを浴びる黒田官兵衛まで、その生き様や戦い方などを通して、現代を生きる私たちにも活かすことのできる知恵や、リーダーシップを学ぶと共に、戦国武将たちの素顔に触れてください。

<http://www.city.ichikawa.lg.jp/library/info/1143.html>

○ 展示の本からいくつかをご紹介します。

◇ 『戦国の古戦場を歩く』井沢元彦／監修（祥伝社 2011）

鎧をつけ走った武士たちと同じ気持ちでと、古戦場をくまなく歩き取材してきた作家の井沢元彦が、全国の古戦場を紹介しています。本文は市川が舞台の「国府台の戦い」から始まり、全 30 ヶ所の古戦場について、その背景や進軍の様子を地図などを用い分かりやすく解説しています。戦国合戦の入門書として手に取りやすい一冊です。

◇ 『信長影絵』津本陽／著（文藝春秋 2013）

「鳴かぬなら殺してしまえホトトギス」で知られる荒々しく血気盛んな印象の強い信長ですが、なぜそのような人格形成がなされたのか、母に愛されることのなかった信長の内面に迫る物語に、新たな信長像を感じることができます。同著者で『下天は夢か』、『霸王の夢』という信長を描いた作品が他にもありますが、異なる切り口からの人物の描き方にも注目です。

◇ 『歴史を「本当」に動かした戦国武将』松平定知／著（小学館 2009）

秀吉、家康ら大武将のために働いた名参謀たち。黒田官兵衛は「読心力」、本多忠勝は「市場開拓力」、直江兼続は「直言力」に優れており、リーダ

一を支え歴史を動かしてきた「ナンバー2」の戦略の立案や実践には、
現代のビジネス社会で生きぬく上での、多くのヒントが隠されています。

.....

◇メールマガジンの登録・解除はこちら

<https://opac.city.ichikawa.chiba.jp/winj/opac/top.do>

◇このメールは自動配信されています。このアドレスに返信いただいても内容の確認およびご返答ができません。ご了承ください。

市川市中央図書館

〒272-0015 千葉県市川市鬼高 1-1-4 047-320-3346
